

静岡県 の 財政状況

平成24年9月

静 岡 県

富国有徳の理想郷

しずおか



目 次

[説明資料関連ページ]

<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人⼝・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)–(6)
	富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(11)
<静岡県の財政状況>	平成23年度一般会計 歳入決算の状況	4	(19)
	平成24年度一般会計 歳入予算の状況	5	(19)
	一般会計 歳入決算の推移	6	(19)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(20)
	平成23年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	(21)
	平成23年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	(21)
	平成24年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(21)
	平成24年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	(21)
	一般会計 歳出決算の推移	12	(21)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	
	平成23年度 特別会計決算の状況	14	
	平成23年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(22)
	平成23年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(22)
	地方公社の改革計画への取組	17	(23)
	地方公社の決算状況	18	(23)
	静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況	19–21	(24)
	財政の中期見通しと健全化への取組	22–31	(25)
	財政関係指標の推移(普通会計)	32–34	(25)
	平成22年度 静岡県の財務諸表	35–39	
	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	40	(26)
<静岡県の起債運営>	財政5基金の年度末残高の推移	41	
	減債基金への積立ての状況	42	(29)
	プライマリーバランスの推移	43	
	静岡県公募公債の発行状況	44	(30)

静岡県人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
静岡県人口数(A)	3,781	3,786	3,793	3,795	3,792	3,797	3,801	3,800	3,792	3,765	3,749
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770	127,771	127,692	127,510	128,056	127,799
本県シェア(A/B)	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.98	2.97	2.94	2.93

※各年度10月1日現在の推計人口(総務省統計局データ)による

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
県内総生産(百万円)	15,968,796	16,793,467	15,983,278	16,360,571	16,282,612	16,357,013	16,887,191	17,171,325	17,044,294	16,452,651	15,112,757
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
一人当たり県民所得(千円)	3,213	3,395	3,215	3,261	3,224	3,247	3,336	3,392	3,420	3,215	2,926
全国順位	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	5

※各年度の数値は「県民経済計算について(内閣府 経済社会総合研究所)」による

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
静岡県製造品出荷額	166,108	161,863	161,851	159,638	166,998	173,227	182,347	194,103	191,777	150,510	157,931
全国順位	5	5	3	3	3	3	3	3	3	2	3
全国製造品出荷額	3,004,776	2,866,674	2,693,618	2,737,344	2,839,670	2,958,003	3,146,194	3,367,566	3,355,788	2,652,590	2,891,077
本県シェア	5.5	5.6	6.0	5.8	5.9	5.9	5.8	5.8	5.7	5.7	5.5

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編(概要版)」による

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
県勢基本	静岡県人口数（千人）	3,801	3,800	3,792	3,765	3,749
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率（人） （千人当たり）	1.44	1.44	1.43	1.54	1.49
	全国順位	14	15	15	13	17
経済産業	県内総生産（億円）	169,275	164,527	151,128	152,297	154,332
	全国順位	10	10	10	（速報）	（速報）
	製造品出荷額等（億円）	194,103	191,777	150,510	157,931	—
	全国順位	3	3	2	3	—
	実質経済成長率（%）	0.2	△ 2.3	△ 7.3	4.2	2.9
	全国数値（%）	1.8	△ 4.1	△ 2.4	3.2	0.0
	医薬品生産額（億円）	6,096	5,600	5,575	5,248	—
	全国順位	2	2	3	2	—
	医療機器生産額（億円）	1,877	1,818	1,956	3,069	—
	全国順位	1	1	1	1	—
	農業産出額（億円）	2,308	2,281	2,086	2,123	—
	全国順位	13	13	16	16	—
	海面漁業・養殖業生産額 （億円）	665	637	558	559	—
	全国順位	6	6	6	6	—
	ホテル・旅館数	4,107	4,028	3,681	3,602	—
	全国順位	1	1	1	1	—
	企業立地件数	124	144	44	41	37
	全国順位	1	1	5	4	3
有効求人倍率	1.20	0.87	0.40	0.52	0.65	
全国数値	1.02	0.77	0.45	0.56	0.68	

区分	項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
経済産業	完全失業率（%）	2.6	3.0	4.1	3.9	3.6
	全国数値	3.9	4.0	5.1	5.1	4.5
教育	大学・短大学生数（人）	39,693	39,079	38,412	38,371	38,268
	全国順位	15	15	15	15	16
	大学・短大等進学率（%）	52.1	52.6	54.3	54.3	54.1
	全国順位	16	18	16	19	18
くらし・環境	図書館数	91	90	92	92	95
	全国順位	—	—	—	—	—
くらし・環境	持ち家率（%）	—	—	—	69.3	—
	全国順位	—	—	—	27	—
	エコアクション21認証登録 事業者数（件）	284	438	606	760	895
くらし・環境	全国順位	1	1	1	2	1
	健康福祉	子育て支援拠点 公立中学校数に対する設置割合（%）	92.0	—	—	—
全国順位		1	—	—	—	—
国民医療費（千円） （1人当たり）		—	244	—	—	—
全国順位（昇順）		—	5	—	—	—
1日平均在院・外来患者数（人） （10万人当たり）		1,747	1,687	1,649	1,672	—
全国順位（昇順）		3	3	3	3	—
健康福祉	生活保護率（‰）	4.5	4.7	4.3	5.0	—
	全国順位（昇順）	8	8	7	7	—
行政	市町村への事務移譲実施数	115	115	120	122	128
	全国順位	1	1	1	1	1

平成23年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	札幌線		130,004	79,948	61.5
		FDA	43,404	26,441	60.9
		ANA	86,600	53,507	61.8
	福岡線	FDA	147,880	88,635	59.9
	熊本線	FDA	17,296	7,264	42.0
	鹿児島線	FDA	46,256	25,879	55.9
	沖縄線	ANA	86,527	62,988	72.8
	チャーター便		1,986	1,699	85.5
	国内線計		429,949	266,413	62.0
国際線	ソウル線		181,592	113,745	62.6
		アジアナ	110,753	74,763	67.5
		大韓	70,839	38,982	55.0
	上海線	東方航空	35,824	19,159	53.5
	台北線	チャイナ	948	692	73.0
	チャーター便		15,704	11,871	75.6
	国際線計		234,068	145,467	62.1
合計		664,017	411,880	62.0	

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く。

平成23年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成23年度 決算	平成22年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成23年度	平成22年度
歳 入 決 算 額	1,149,794	1,168,527	△ 18,733	△ 1.6	100.0	100.0
県税	397,862	401,697	△ 3,835	△ 1.0	34.6	34.4
地方消費税清算金	76,038	76,527	△ 489	△ 0.6	6.6	6.5
地方譲与税	49,245	46,242	3,003	6.5	4.3	4.0
地方特例交付金	4,071	4,415	△ 344	△ 7.8	0.3	0.4
地方交付税	163,951	168,277	△ 4,326	△ 2.6	14.3	14.4
交通安全対策特別交付金	1,305	1,315	△ 10	△ 0.8	0.1	0.1
分担金及び負担金	4,930	7,396	△ 2,466	△ 33.3	0.4	0.6
使用料及び手数料	9,903	10,348	△ 445	△ 4.3	0.9	0.9
国庫支出金	136,507	149,325	△ 12,818	△ 8.6	11.9	12.8
財産収入	6,693	2,804	3,889	138.7	0.6	0.2
寄附金	1,246	1,613	△ 367	△ 22.8	0.1	0.1
繰入金	60,812	40,800	20,012	49.0	5.3	3.5
繰越金	14,445	10,533	3,912	37.1	1.2	0.9
諸収入	27,435	27,531	△ 96	△ 0.3	2.4	2.4
県債	195,179	219,704	△ 24,525	△ 11.2	17.0	18.8
市町たばこ税県交付金	172	0	172	皆増	0.0	0.0

平成24年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					平成24年度	平成23年度	
歳 出 規 模	1,130,600	1,132,400	△ 1,800	△ 0.2	100.0	100.0	
一 般 財 源 等	県税	397,000	395,000	2,000	0.5	35.1	34.9
	地方消費税清算金	78,766	77,429	1,337	1.7	7.0	6.8
	地方譲与税	50,300	47,500	2,800	5.9	4.5	4.2
	地方特例交付金	1,621	4,027	△ 2,406	△ 59.7	0.1	0.3
	地方交付税	157,500	156,300	1,200	0.8	13.9	13.8
	臨時財政対策債	122,000	120,000	2,000	1.7	10.8	10.6
	その他	30,845	39,197	△ 8,352	△ 21.3	2.7	3.5
	計	838,032	839,453	△ 1,421	△ 0.2	74.1	74.1
特 定 財 源	国庫支出金	120,714	118,932	1,782	1.5	10.7	10.5
	県債	70,439	64,138	6,301	9.8	6.2	5.7
	繰入金	72,177	75,744	△ 3,567	△ 4.7	6.4	6.7
	その他	29,238	34,133	△ 4,895	△ 14.3	2.6	3.0
	計	292,568	292,947	△ 379	△ 0.1	25.9	25.9

一般会計 歳入決算の推移

(単位: 億円・%)

区 分	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
県税	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	3,970
構成比	32.8	32.0	35.0	33.9	34.1	35.9	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.6	35.1
地方交付税	1,311	1,970	2,141	2,070	2,050	1,918	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,640	1,575
構成比	9.1	14.0	15.6	15.0	16.7	16.2	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	14.3	13.9
国庫支出金	2,429	2,333	2,225	2,311	2,061	1,901	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,365	1,207
構成比	16.8	16.6	16.2	16.8	16.8	16.0	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	11.9	10.7
県債	2,793	2,209	1,804	2,102	1,941	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	1,924
通常債	2,793	2,209	1,804	1,930	1,524	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	657	716	692
特例債	—	—	—	172	417	737	526	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,220
病院債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	22	15	12
構成比	19.3	15.7	13.2	15.2	15.9	15.7	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	17.0	17.0
その他	3,182	3,057	2,740	2,637	2,008	1,921	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,562	2,630
構成比	22.0	21.7	20.0	19.1	16.5	16.2	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	22.2	23.3
計	14,448	14,061	13,714	13,796	12,236	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,306

※平成24年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位: 億円・%)

区 分	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
個人県民税	722	746	722	715	699	673	677	724	812	1,460	1,510	1,492	1,344	1,324	1,352
構成比	15.2	16.6	15.0	15.3	16.7	15.8	15.5	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	33.5	33.3	34.1
法人二税	1,655	1,485	1,617	1,541	1,343	1,534	1,620	1,818	2,046	2,184	1,988	885	893	913	891
構成比	35.0	33.1	33.7	33.0	32.2	36.1	37.0	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	22.2	22.9	22.4
その他	2,356	2,261	2,465	2,420	2,134	2,047	2,080	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,780	1,742	1,727
構成比	49.8	50.3	51.3	51.7	51.1	48.1	47.5	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	44.3	43.8	43.5
計	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	3,970

(参考)

地方法人 特別譲与税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195	431	463	474
合計	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,373	4,448	4,442	4,444

※平成24年度は当初予算

平成23年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成23年度 決算	平成22年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成23年度	平成22年度
歳 出 決 算 額		1,134,948	1,154,082	△ 19,134	△ 1.7	100.0	100.0
義 務 的 経 費	人件費	371,787	372,878	△ 1,091	△ 0.3	32.8	32.3
	扶助費	80,978	77,403	3,575	4.6	7.1	6.7
	公債費	171,506	169,684	1,822	1.1	15.1	14.7
	災害復旧費	5,607	2,680	2,927	109.2	0.5	0.2
	計	629,878	622,645	7,233	1.2	55.5	53.9
義 務 的 経 費 以 外	投資的経費	162,799	173,356	△ 10,557	△ 6.1	14.3	15.1
	公共・直轄	90,307	91,976	△ 1,669	△ 1.8	7.9	8.0
	単独等	72,492	81,380	△ 8,888	△ 10.9	6.4	7.1
	その他の経費	342,271	358,081	△ 15,810	△ 4.4	30.2	31.0
	計	505,070	531,437	△ 26,367	△ 5.0	44.5	46.1

平成23年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成23年度 決算	平成22年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成23年度	平成22年度
議会費	2,065	1,905	160	8.4	0.2	0.2
経営管理費	39,603	57,580	△ 17,977	△ 31.2	3.5	5.0
企画広報費	6,712	16,760	△ 10,048	△ 60.0	0.6	1.5
くらし・環境費	9,537	7,278	2,259	31.0	0.8	0.6
文化・観光費	7,526	8,406	△ 880	△ 10.5	0.7	0.7
健康福祉費	204,524	190,298	14,226	7.5	18.0	16.5
経済産業費	45,922	50,966	△ 5,044	△ 9.9	4.0	4.4
交通基盤費	142,722	150,640	△ 7,918	△ 5.3	12.6	13.1
危機管理費	4,716	4,614	102	2.2	0.4	0.4
警察費	77,798	78,723	△ 925	△ 1.2	6.9	6.8
教育費	305,218	304,079	1,139	0.4	26.9	26.3
災害対策費	8,182	2,876	5,306	184.5	0.7	0.2
公債費	171,506	169,683	1,823	1.1	15.1	14.7
諸支出金	108,917	110,274	△ 1,357	△ 1.2	9.6	9.6
計	1,134,948	1,154,082	△ 19,134	△ 1.7	100.0	100.0

平成24年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成24年度	平成23年度
歳 出 総 額		1,130,600	1,132,400	△ 1,800	△ 0.2	100.0	100.0
義務的経費	人件費	370,000	373,700	△ 3,700	△ 1.0	32.7	33.0
	扶助費	84,804	81,435	3,369	4.1	7.5	7.2
	公債費	172,327	173,028	△ 701	△ 0.4	15.2	15.3
	災害復旧費	10,815	9,000	1,815	20.2	1.0	0.8
	計	637,946	637,163	783	0.1	56.4	56.3
税収関連法定経費		114,715	113,509	1,206	1.1	10.2	10.0
義務的経費・ 法定経費・ 税外 税収 関連	投資的経費	171,474	165,674	5,800	3.5	15.2	14.6
	うち 公共・直轄	94,303	85,994	8,309	9.7	8.3	7.6
	うち 単独	75,152	74,687	465	0.6	6.7	6.6
	その他の経費	206,465	216,054	△ 9,589	△ 4.4	18.2	19.1
	計	377,939	381,728	△ 3,789	△ 1.0	33.4	33.7

平成24年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成24年度 当初予算	平成23度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成24年度	平成23年度
議会費	2,033	2,149	△ 116	△ 5.4	0.2	0.2
経営管理費	31,387	32,534	△ 1,147	△ 3.5	2.8	2.9
企画広報費	8,465	5,832	2,633	45.1	0.7	0.5
くらし・環境費	8,787	8,647	140	1.6	0.8	0.7
文化・観光費	9,555	7,817	1,738	22.2	0.8	0.7
健康福祉費	204,420	201,952	2,468	1.2	18.1	17.8
経済産業費	38,421	48,445	△ 10,024	△ 20.7	3.4	4.3
交通基盤費	142,499	139,488	3,011	2.2	12.6	12.3
危機管理費	9,139	4,336	4,803	110.8	0.8	0.4
警察費	77,813	76,842	971	1.3	6.9	6.8
教育費	301,621	307,670	△ 6,049	△ 2.0	26.7	27.2
災害対策費	10,965	9,116	1,849	20.3	1.0	0.8
公債費	172,327	173,028	△ 701	△ 0.4	15.2	15.3
諸支出金	112,868	114,244	△ 1,376	△ 1.2	10.0	10.1
予備費	300	300	0	0.0	0.0	0.0
計	1,130,600	1,132,400	△ 1,800	△ 0.2	100.0	100.0

一般会計 歳出決算の推移

(単位: 億円・%)

区 分	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
義務的経費	6,010	6,193	6,492	6,558	6,420	6,258	6,293	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,226	6,299	6,379
構成比	42.0	44.4	47.9	48.1	53.0	53.5	54.5	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	53.9	55.5	56.4
人件費	4,078	4,100	4,045	4,099	4,042	3,903	3,900	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,728	3,718	3,700
構成比	28.5	29.4	29.9	30.1	33.4	33.4	33.8	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	32.3	32.8	32.7
扶助費	412	439	546	591	609	537	568	564	626	659	686	724	774	810	848
構成比	2.9	3.2	4.0	4.3	5.0	4.6	4.9	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7	7.1	7.5
公債費	1,393	1,551	1,846	1,792	1,684	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,723
構成比	9.7	11.1	13.6	13.1	13.9	14.7	15.0	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	14.7	15.1	15.2
災害復旧費	127	103	55	76	85	91	90	83	37	37	34	10	27	56	108
構成比	0.9	0.7	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5	1.0
投資的経費	4,883	4,350	3,873	3,694	3,146	2,771	2,577	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,734	1,628	1,715
構成比	34.1	31.2	28.6	27.1	26.0	23.7	22.3	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	15.1	14.3	15.2
公共・直轄	2,294	2,185	1,994	1,909	1,748	1,495	1,373	1,195	1,114	1,006	897	892	920	903	943
構成比	16.0	15.7	14.7	14.0	14.5	12.8	11.9	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.0	8.0	8.3
単独等	2,589	2,165	1,879	1,785	1,398	1,276	1,204	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	814	725	772
構成比	18.1	15.5	13.9	13.1	11.5	10.9	10.4	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	7.1	6.4	6.8
その他	3,413	3,381	3,176	3,376	2,543	2,664	2,683	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,581	3,422	3,212
構成比	23.9	24.4	23.5	24.8	21.0	22.8	23.2	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	31.0	30.2	28.4
計	14,306	13,924	13,541	13,628	12,109	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,306
形式収支 (歳入－歳出)	143	137	174	168	127	163	119	114	121	104	95	106	144	148	—
実質収支	41	41	49	58	53	60	62	57	59	61	57	57	58	56	—

※平成24年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
義務的経費	6,069	6,181	6,527	6,594	6,446	6,275	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,351	6,379
構成比	41.4	44.1	48.2	48.3	53.5	53.7	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	55.1	56.4
人件費	4,103	4,121	4,063	4,115	4,060	3,914	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,734	3,700
構成比	28.0	29.4	30.0	30.1	33.7	33.5	33.6	34.8	34.8	34.7	33.9	30.7	32.3	32.4	32.7
扶助費	415	445	556	596	613	541	573	570	637	664	689	730	776	813	848
構成比	2.8	3.2	4.1	4.4	5.1	4.6	4.9	5.0	5.7	5.8	6.0	5.9	6.7	7.1	7.5
公債費	1,393	1,551	1,846	1,792	1,692	1,732	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,716	1,723
構成比	9.5	11.1	13.6	13.1	14.0	14.8	15.0	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	14.9	15.2
災害復旧費	158	64	62	91	81	88	113	64	15	56	15	17	38	88	108
構成比	1.1	0.4	0.5	0.7	0.7	0.8	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.8	1.0
税関関連法定経費	1,218	1,138	1,251	1,244	994	1,036	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135	1,147
構成比	8.3	8.1	9.2	9.1	8.2	8.9	9.9	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.8	9.8	10.1
投資的経費	5,055	4,398	3,769	3,646	3,008	2,682	2,535	2,273	2,207	2,098	2,045	2,036	1,684	1,685	1,715
構成比	34.5	31.4	27.8	26.6	25.0	23.0	21.8	20.2	19.5	18.4	17.9	16.5	14.5	14.6	15.2
公共・直轄	2,469	2,215	1,964	1,867	1,684	1,419	1,336	1,197	1,122	992	907	987	983	942	943
構成比	16.9	15.8	14.5	13.6	14.0	12.2	11.5	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	8.2	8.3
単独等	2,586	2,183	1,805	1,779	1,324	1,263	1,199	1,076	1,085	1,106	1,138	1,049	701	743	772
構成比	17.6	15.6	13.3	13.0	11.0	10.8	10.3	9.6	9.6	9.7	10.0	8.5	6.0	6.4	6.8
その他	2,302	2,300	1,981	2,188	1,598	1,684	1,601	1,652	1,751	1,781	2,017	2,915	2,531	2,352	2,065
構成比	15.8	16.4	14.8	16.0	13.3	14.4	13.8	14.7	15.5	15.6	17.6	23.7	21.8	20.4	18.3
計	14,644	14,017	13,528	13,672	12,046	11,677	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,523	11,306

※平成24年度は当初予算

平成23年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区分	会計の概要	歳入	歳出	差引	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	310,997	310,997	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	4,899	4,899	0	—
市町振興助成事業	市町が実施する地震防災対策事業などに必要な資金の貸付	4,488	4,483	5	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	10,212	9,969	243	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残による。
母子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金の貸付	720	627	93	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	668	667	1	年金受給者数が見込を下回ったことによる。
就農支援資金	青年等の就農促進のための資金の貸付	417	296	121	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	375	113	262	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	195	38	157	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
中小企業振興資金	中小企業の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	9,197	5,970	3,227	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	6,874	6,773	101	清水港港湾管理費等における執行残及び翌年度繰越による。
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	14,364	13,945	419	西遠、天竜川左岸等の流域下水道における翌年度繰越による。
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,565	1,565	0	—
計		364,971	360,342	4,629	

平成23年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中枢を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	25,906	25,485	421	11,650
工業用水道事業	県下10市町の379事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静清、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	5,503	4,961	542	6,247
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	6,163	5,431	732	4,354
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	4,913	4,766	147	5,750
計		42,485	40,643	1,842	28,001

平成23年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	企業債	支出	企業債償還金	
静岡がんセンター事業	病院本棟改修、器械備品購入ほか	2,167	1,487	4,509	2,409	△ 2,342
工業用水道事業	工業用水の供給を確保するため、県下7工業用水道で必要な施設整備を実施(東駿河湾、中遠、富士川等)	836	201	2,510	1,015	△ 1,674
水道事業	県下3広域水道で必要な施設整備を実施(遠州水道、駿豆水道、榛南水道)	625	208	3,083	1,271	△ 2,458
地域振興整備事業	オーダーメイド方式による工業用地の造成(牧之原中里工業団地、浜松都田工業用地)	0	0	992	0	△ 992
計		3,628	1,896	11,094	4,695	△ 7,466

地方公社の改革計画への取組

団体名	集中改革プラン(平成18年3月策定)		行財政改革大綱 (平成23年3月策定)	
	概要	成果		
静岡県地域整備センター	静岡県土地 開発公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 県と公社の役割の明確化 ◎ 事業規模に見合った組織体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で職員数を平成17年度から21年度で10人削減 ◎ 職員常駐支所を4箇所から1箇所とするなど、事業規模に見合った組織体制の見直し ◎ 長期借入金から短期借入金への事業資金調達方法の変更や入札条件の詳細な設定などによる金利負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った効率的な組織体制を整備 ◎ 公共事業の減少や地価の下落などの環境変化を踏まえて公社の在り方を検討するとともに、毎年度経営状況等に関する点検評価を実施
	静岡県道路 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った組織体制 ◎ 業務の効率的執行 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で職員数を平成17年度から21年度で27人削減 ◎ 直営で行っていた料金徴収業務を全て入札による民間委託として実施 ◎ 土木施設に応じた最適な維持管理を行い施設の長寿命化を図るため、独自の維持管理補修計画を策定し、計画的な施設管理を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った効率的な組織体制を整備 ◎ 経営安定化を図るため、有料道路の利用台数を確保するための対策を実施 ◎ 有効活用を含め公社の在り方を検討するとともに、毎年度経営状況等に関する点検評価を実施
	静岡県住宅 供給公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 業務の効率的執行 ◎ 経営改善の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 正規職員数を17年度から22年度で9人削減 ◎ 県営住宅管理受託について、平成18年度から管理代行者として受託 ◎ 重点課題ごとにプロジェクトチームを設置し、経営改善方策を検討 H22 経営改善、特優賃対策、住宅管理事務検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 借上賃貸住宅の入居率向上対策など、実効性のある経営改善対策を実施 ◎ 事業規模に見合った効率的な組織体制を整備 ◎ 借上賃貸住宅管理事業終了(平成29年度)後の公社の在り方を検討するとともに、毎年度経営状況等に関する点検評価を実施

地方公社の決算状況

(単位:百万円)

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社		
		平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	
出資状況	出資団体数	1	1	16	16	4	4	
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10
		その他団体出資額	-	-	1,897	1,897	5	5
	計	20	20	9,420	9,420	15	15	
貸借対照表	資産	流動資産	10,584	10,492	3,891	4,053	3,350	3,228
		固定資産	2,074	2,130	35,170	35,131	12,841	10,205
		小計	12,658	12,622	39,061	39,184	16,191	13,433
	負債	流動負債	333	356	195	151	2,567	2,381
		固定負債	10,118	9,952	5,155	4,045	13,148	10,467
		特別法上の引当金等	-	-	17,610	18,850	-	-
		小計	10,451	10,308	22,960	23,046	15,715	12,848
	資本	資本金	20	20	9,420	9,420	15	15
		剰余金	-	-	6,681	6,718	-	-
		法定準備金等	2,187	2,294	-	-	461	570
		小計	2,207	2,314	16,101	16,138	476	585
		計	12,658	12,622	39,061	39,184	16,191	13,433
	損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	4,011	4,837	2,098	2,229	3,529
営業費用 (b)			4,037	4,830	2,565	2,527	3,367	3,303
営業利益 (c=a-b)			△ 26	7	△ 467	△ 298	162	179
営業外収益 (d)			45	45	601	392	10	20
営業外費用 (e)			0		67	57	116	180
経常利益 (f=c+d-e)			19	52	67	37	56	19
特別利益 (g)		0		-	-	78	144	
特別損失 (h)		-	-	-	-	4	54	
	当期損益 (i=f+g-h)	19	52	67	37	130	109	

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

平成24年3月末現在

(単位: %、百万円)

○全団体の状況

形態	所管	出資割合が50%以上				出資割合が25%以上50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	平成23年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	平成23年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(財)しずおか産業創造機構	5,277 (100.0)	36.2	1,248	(社)静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	5.6	2,070
		(財)静岡県労働福祉事業協会	2,193 (99.9)	△ 43.4	2,150	(財)静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	△ 4.2	3,371
		(財)静岡県舞台芸術センター	1,570 (100.0)	△ 18.4	1,643	(社)静岡県畜産協会	245 (31.6)	△ 2.3	287
		(財)静岡総合研究機構	1,050 (95.4)	△ 42.4	1,129	(財)静岡県腎臓バンク	150 (48.7)	0.8	330
		(財)浜松地域テクノポリス推進機構	1,023 (56.7)	1.0	2,351	(財)静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.3)	4.1	114
		(財)静岡県文化財団	900 (89.8)	△ 44.7	1,178	(社)静岡県果実生産出荷安定基金協会	26 (25.0)	1.0	33
		(財)静岡県国際交流協会	797 (86.9)	6.3	956	(財)静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	△ 3.7	148
		(財)世界緑茶協会	393 (100.0)	2.6	397				
		(財)しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	△ 9.4	364				
		(財)静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	0.4	107				
		(社)静岡県緑化推進協会	50 (67.0)	△ 4.5	108				
		(社)静岡県農業振興公社	50 (50.0)	△ 3.2	405				
		(財)静岡県下水道公社	8 (50.0)	0.4	21				
		公安委員会	(財)静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	4.7	881			
	教育委員会				(財)静岡県青少年会館	100 (40.0)	0.3	252	
地方公社		静岡県道路公社	7,523 (79.9)	36.8	16,138				
		静岡県土地開発公社	20 (100.0)	51.7	2,314				
		静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	18.8	585				
会社法法人					天竜浜名湖鉄道(株)	250 (39.7)	△ 184.1	152	
					(株)エイ・ピー・アイ	20 (39.0)	11.1	155	

<参考>

地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	100.1	19,691
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	180.2	16,191
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	2,307.8	10,593

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

○平成23年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業の概要	H23経常収支	赤字の理由	今後収支改善の見通し
財団・ 社団法人	(財) 静岡県労働福祉事業協会	・勤労者福祉施設の管理運営、その他勤労者福祉の増進	△ 43,354	建物の減価償却費(おおとり荘)の計上等による。	経営に必要な資金は確保し、自立した経営を行っている。毎年、経営改善計画を策定し、おおとり荘宿泊者数の増加に取り組んでおり、引き続き積極的な誘客を図り、収支改善に努める。
	(財) 静岡県舞台芸術センター	・舞台芸術作品の創造・公演 ・舞台芸術普及・人材育成、舞台芸術活動支援 ・文化施設(舞台芸術公園)の管理	△ 18,362	人材育成事業費の増等による。	効率のよい事業推進に努めるとともに、自主財源の一層の確保(助成金の確保、入場料収入増、会費収入増等)により、経営体質の強化を図る。
	(財) 静岡総合研究機構	・地域社会、産業経済に関する調査研究等	△ 42,403	最終事業年度として、受託事業を最小限にとどめる一方、財団のこれまでの成果の集大成として、自主事業等に積極的に取り組んだことによる。	平成24年3月末解散
	(財) 静岡県文化財団	・文化情報の提供及び文化意識の啓発 ・地域文化の振興及び文化鑑賞機会の提供 ・文化ホール(グランシップ)の管理	△ 44,710	貸館事業収入の減等による。	貸館事業収入の増加や助成金の確保、管理運営事業費の節減等を図り、収支改善に努める。
	(財) しずおか健康長寿財団	・県民総参加による高齢者の生きがいづくり及び健康づくりの推進 ・静岡県総合健康センターの管理及び運営(平成23年度まで) ・静岡県介護・実習普及センターの運営の受託	△ 9,391	総合健康センター指定管理終了に伴うシステムの移行費の増等による。	システムの移行作業は23年度単年度限りであり、今後は、収支が改善する見込である。
	(社) 静岡県緑化推進協会	・緑の募金の推進及び緑の募金による寄附金の管理 ・緑の募金による森林の整備	△ 4,473	東日本大震災への義捐金に回ったため、緑の募金収入が減少したことによる。	今年度開催の全国育樹祭により県民の森林に対する関心が高まることが期待されるので、募金活動に努め収支改善を図る。
	(社) 静岡県農業振興公社	・農地保有合理化事業 ・青年農業者等育成事業	△ 3,212	長期保有農地の処分が終わり、赤字は大幅に減少したが、財産の運用利息等が伸び悩んだことによる。	より需要の高い事業に切り替えることにより、赤字幅は減少する見込みである。

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

○平成23年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業の概要	H23経常収支	赤字の理由	今後収支改善の見通し
財団・ 社団 法人	(財) 静岡県漁業振興基金	・漁業振興及び栽培漁業推進	△ 4,204	公益財団法人への移行に伴い、剰余金を活用して事業実施したことによる。	残余財産額を勘案しながら、的確な基本財産の運用・管理や効率的な事業実施により適正な収支を維持していく。
	(社) 静岡県畜産協会	・家畜衛生、農家経営指導、肉用子牛及び肉用牛価格安定制度	△ 2,304	国の補助金が縮小傾向にあること等による。	家畜自衛防疫推進事業の経費圧縮により、収支の改善を図る。
	(財) 静岡県生活衛生営業指導センター	・生活衛生関係営業者に対する指導	△ 3,733	標準営業約款に係る広告宣伝を重点的に実施したことによる。	標準営業約款の登録促進に努め収益の増を図るとともに、経費の削減に努める。
会社 法人	天竜浜名湖鉄道(株)	・地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営	△ 184,145	輸送人員の減による。	新経営計画(21年度～25年度)に基づき、営業力の強化により増収対策を図るとともに、業務内容の見直しや無駄の削減等により経費削減に努め、経営改善を進める。

財政の中期見通しと健全化への取組

1 財政の中期見通し

平成24年度当初予算策定時

(1) 試算の前提

- ① 経済成長率は、内閣府試算(平成24年1月「経済財政の中長期試算」)に用いられた2パターンの経済成長率(慎重シナリオ、成長戦略シナリオ)のうち、より慎重な経済見通しを前提とする。

(名目経済成長率)

(単位:%)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度
慎重シナリオ	1.7	2.6	1.8	2.3

- ② 地方財政は、三位一体の改革以降、一般財源総額(地方税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計額)が概ね同規模に固定されていることを踏まえ、一般財源総額を23年度同額で固定するパターンを「ケース1」、また、義務的経費等の財政需要の増加が地方交付税に反映する本来の地方財政制度の機能が発揮されるパターンを「ケース2」として試算

財政の中期見通しと健全化への取組

(2) 試算結果

平成24年度当初予算策定時

- 実質公債費比率、将来負担比率については、財政健全化法における**健全段階を維持**
- 県独自の健全化目標のうち、
 - ・ 県債残高は、今後、いずれのケースも着実に減少し、**目標の範囲内で推移**
 - ・ 経常収支比率は、ケース2(地方財政制度機能発揮)では改善する見込であるが、**ケース1(一般財源総額据置)では、義務的経費の増加に伴い、更なる上昇はまぬがれない状況**
- 財源不足額は、ケース2(地方財政制度機能発揮)では、中期的に解消の方向に向かうが、**ケース1(一般財源総額据置)では、今後も400億円程度で推移**

<参考：県独自の健全化の目標>

区 分	指標			国基準
	H21	H22	H23	
① 経常収支比率を90%以下へ	93.3%	89.7%	94.2%	—
② 実質公債費比率を18%未満に抑制	13.1%	14.3%	14.2%	18.0%
③ 県債残高2兆円程度を上限	19,610億円	19,100億円	18,821億円	—
④ 将来負担比率を400%未満に抑制	262.8%	251.8%	249.4%	400.0%

※H21, 22は決算、H23は年間見込

財政の中期見通しと健全化への取組

平成24年度当初予算策定時

＜試算結果＞

(単位:億円)

区分	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般財源総額 据置パターン	経常収支比率	94.4%	95.0%	95.0%	95.5%	95.7%
	実質公債費比率	14.9%	15.0%	14.9%	15.2%	15.2%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	18,339	17,830	17,321	16,751	16,180
	県債残高(全体) <small>注2</small>	26,105	26,608	26,973	27,153	27,208
	将来負担比率	253.1%	259.2%	263.8%	266.4%	266.8%
	財源不足額	△ 392	△ 428	△ 401	△ 404	△ 406
地方財政制度 機能発揮パターン	経常収支比率	94.4%	93.9%	92.6%	92.5%	92.2%
	実質公債費比率	14.9%	14.9%	14.7%	14.8%	14.7%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	18,339	17,830	17,321	16,751	16,180
	県債残高(全体) <small>注2</small>	26,105	26,608	26,973	27,153	27,208
	将来負担比率	253.1%	255.5%	256.2%	256.5%	255.1%
	財源不足額	△ 392	△ 342	△ 224	△ 175	△ 132

- (注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外
- 2 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

財政の中期見通しと健全化への取組

2 健全化への取組

平成24年度当初予算策定時

(1) 新しい行財政改革大綱に基づく財政健全化への積極的な取組

① 県債残高

(単位：億円)

区分	内容	23年度末	24年度末
通常債残高	2兆円程度を上限としてコントロール ・H24-H23: △482億円	18,821	18,339

② 歳出のスリム化と歳入の確保

(単位：百万円)

区分	内容	23年度当初	24年度当初	
歳出のスリム化	補助金・団体負担金の見直し	サンセット方式の導入 市町向け補助金の見直し 等	17	840
	事務事業の徹底した見直し	旅費等事務費節減 更新車両の軽車両化 民間委託等の一層の活用 等	2,011	1,681
	その他	一般行政部門のスリム化 他会計等への歳出の見直し 等	9,047	7,375
	小計		11,075	9,896
歳入の確保	県税収入の確保	市町との協働等による徴収強化	665	1,570
	未利用財産売却等	未利用の県有地等の売却 外郭団体解散による寄附受入等	4,170	2,930
	その他	資金運用の効率化 等	961	295
	小計		5,796	4,795
計		16,871	14,691	

財政の中期見通しと健全化への取組

平成24年度当初予算策定時

(2) 基金活用可能額の積み増し

- ・ 将来に備え、基金活用可能額は、23年度と同水準を確保(253億円)

翌年度以降の基金活用可能額の確保

(単位:億円)

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
当初予算活用可能額 A	702	609	686	554	557	579	503	575	433	597	645
当初予算活用額 (財源不足額) B	531	489	569	499	341	328	336	527	386	347	392
当初予算編成後 C=A-B	171	120	117	55	216	251	167	48	47	250	253
前年度決算後 D	231	155	155	137	250	296	183	78	92	320	—
翌年度活用可能額 E	602	674	543	546	554	480	570	433	597	645	—

(注) 当初予算活用可能額Aは、前年度の翌年度活用可能額Eに利子等を加算

3 課題と今後の対応

(1) 課題

- 昨年発生した東日本大震災を受け、地震・津波対策の一層の充実や、新エネルギーの導入促進等を図る必要が生じ、新たな財政需要が発生することとなる。
また、高齢化率の上昇に伴い、今後も社会保障関係費の増大が見込まれており、現在の行政サービス水準を維持するためには、安定した財源の確保が必要となる。
- 試算結果のとおり、本来の地方財政制度が着実に機能する場合(ケース2)には、震災復興後の経済成長に伴う税収増や、財政需要の拡大に伴う地方交付税の増等により、財源不足額は130億円程度まで縮小していくことが見込まれる。
一方、国の中期財政フレーム等により地方の一般財源総額が据え置かれる前提(ケース1)では、財源不足額は430～400億円程度で推移する見通しとなっている。
- このため、本県経済の持続的な成長を促し、県内総生産や県民所得の向上を図る(県自らの取組)とともに、地方が行政サービスを持続的に提供するための安定的な地方税財政の枠組みを確立する(国への提言)ことが不可欠である。

(2) 今後の対応

平成24年度当初予算策定時

①県自らの取組

○ 今後の経済成長をもたらす取組を実施

- (1) 新エネルギー、医療・健康など成長分野の産業を育成
- (2) 新東名の開通により新たに生じる内陸部の優位性を活かし、地域経済の活力を創出
- (3) 人口減少に歯止めをかけ、将来の成長基盤を確保するための取組を充実

○ 行財政改革大綱に基づく徹底的な行財政改革を継続

(1) 歳出のスリム化

県有財産管理の効率化、情報システム最適化の推進、内部管理経費等の徹底した見直し、
外郭団体に関する外部評価の実施 ほか

(2) 歳入の確保

市町と協働による地方税徴収対策の強化、県有施設の有効活用、未利用財産売却 ほか

②国への提言

○ 地域主権改革の着実な実行

- ・ 真の地域自立を実現するための地域主権改革の実現
- ・ 「国と地方の協議の場」等における地方の意見の適切な反映

○ 将来にわたって安心な財政運営の確立

- ・ 社会保障・税の一体改革の着実な実施を含め、国・地方を通じた中長期的に安定的な税財政の枠組みの構築
- ・ 行政サービスを安定的に提供するために必要な一般財源総額の確保

財政の中期見通しと健全化への取組

「財政の中期見通し」の前提条件

平成24年度当初予算策定時

○ 経済成長率：内閣府試算（平成24年1月「経済財政の中長期試算」）で用いられた経済成長率を使用

⇒ 慎重シナリオ H25: 1.7%、H26: 2.6%、H27: 1.8%、H28: 2.3%

○ 推計方法

区 分		考え方
歳 出	人件費	増減員分、退職手当分は推計額
	扶助費	通常分 → 年平均伸び率3.1%（H20～22決算平均伸び率） 後期高齢者医療分・介護保険分・障害者自立支援分→推計額
	公債費	既発行分 → 積上げ 今後発行分 → 利率は、国の試算（1.6～2.4%）
	災害復旧費	24年度当初と同額
	税関関連法定経費	原則として税収の伸びに連動
	公共・直轄	公共・直轄分 → 前年×1.0+積上げ
	単独	単独（通常分） → 前年×1.0 単独（主要事業） → 積上げ
	その他の経費	原則として24年度当初と同額 選挙経費は実施年度の推計額
	（再掲） 総合計画の反映	基本計画に示した4年間（H22～25）の具体的な取組のうち、主な取組を試算に反映
	歳 入	県税
地方消費税清算金		地方消費税に連動
地方譲与税		名目経済成長率×弾性値（1.1）
地方特例交付金		24年度当初と同額
地方交付税 +臨時財政対策債		ケース1：24年度当初同額±税増減収分 ※一般財源総額を同額で固定し、税収増減等の25%相当分は算定から除外 ケース2：ケース1+義務的経費の増分を反映
国庫支出金		原則として歳出に連動
県債		原則として歳出に連動
その他の歳入	原則として、24年度当初と同額 分担金・負担金 → 投資的経費に連動	

財政の中期見通しと健全化への取組

財政の中期見通し <ケース1>一般財源総額据置パターン

平成24年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 25年度 1.7% 26年度 2.6% 27年度 1.8% 28年度 2.3%

△印減額(単位:億円)

区分	23年度	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		
	当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額	
歳	義務的経費	6,371	6,379	8	6,451	72	6,455	4	6,534	79	6,583	49
	人件費	3,737	3,700	△37	3,699	△1	3,654	△45	3,668	14	3,639	△29
	うち退職手当	323	353	30	372	19	352	△20	386	34	385	△1
	扶助費	814	848	34	872	24	908	36	932	24	950	18
	公債費	1,730	1,723	△7	1,772	49	1,785	13	1,826	41	1,886	60
	うち通常債分	1,484	1,475	△9	1,460	△15	1,399	△61	1,362	△37	1,354	△8
	うち臨時財政対策債分	207	207	0	267	60	337	70	404	67	469	65
	災害復旧費	90	108	18	108	0	108	0	108	0	108	0
	税関関連法定経費	1,135	1,147	12	1,164	17	1,205	41	1,279	74	1,310	31
	義務的経費・税関関連経費以外	3,818	3,780	△38	3,523	△257	3,366	△157	3,262	△104	3,234	△28
出	投資的経費	1,606	1,695	89	1,574	△121	1,471	△103	1,341	△130	1,342	1
	公共・直轄	860	943	83	836	△107	839	3	849	10	846	△3
	単独	746	752	6	738	△14	632	△106	492	△140	496	4
	その他の経費	2,212	2,085	△127	1,949	△136	1,895	△54	1,921	26	1,892	△29
	合計 A	11,324	11,306	△18	11,138	△168	11,026	△112	11,075	49	11,127	52
(再掲)※ 総合計画の「主な取組」		1,300	1,250		1,200		-		-		-	
歳	県税	3,950	3,970	20	4,025	55	4,155	130	4,323	168	4,436	113
	うち法人事業税	699	704	5	735	31	760	25	775	15	794	19
	地方消費税清算金	774	788	14	802	14	825	23	842	17	863	21
	地方譲与税	475	503	28	512	9	527	15	537	10	551	14
	うち地方法人特別譲与税	446	474	28	483	9	497	14	507	10	519	12
	地方交付税	2,763	2,795	32	2,750	△45	2,660	△90	2,585	△75	2,501	△84
	うち臨時財政対策債	1,200	1,220	20	1,175	△45	1,087	△88	1,015	△72	931	△84
	地方特例交付金	40	16	△24	16	0	16	0	16	0	16	0
	国庫支出金	1,190	1,208	18	1,206	△2	1,222	16	1,241	19	1,226	△15
	県債	641	704	63	703	△1	669	△34	577	△92	582	5
入	その他の歳入	1,144	930	△214	696	△234	551	△145	550	△1	546	△4
	合計 B	10,977	10,914	△63	10,710	△204	10,625	△85	10,671	46	10,721	50

※ 新たな総合計画基本計画に示した4年間の具体的取組のうち「主な取組」(再掲)

財政の中期見通しと健全化への取組

財政の中期見通し <ケース2> 地方財政制度機能発揮パターン

平成24年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 25年度 1.7% 26年度 2.6% 27年度 1.8% 28年度 2.3%

△印減額(単位:億円)

区分	23年度	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		
	当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額	
歳	義務的経費	6,371	6,379	8	6,451	72	6,455	4	6,534	79	6,583	49
	人件費	3,737	3,700	△ 37	3,699	△ 1	3,654	△ 45	3,668	14	3,639	△ 29
	うち退職手当	323	353	30	372	19	352	△ 20	386	34	385	△ 1
	扶助費	814	848	34	872	24	908	36	932	24	950	18
	公債費	1,730	1,723	△ 7	1,772	49	1,785	13	1,826	41	1,886	60
	うち通常債分	1,484	1,475	△ 9	1,460	△ 15	1,399	△ 61	1,362	△ 37	1,354	△ 8
	うち臨時財政対策債分	207	207	0	267	60	337	70	404	67	469	65
	災害復旧費	90	108	18	108	0	108	0	108	0	108	0
	税関関連法定経費	1,135	1,147	12	1,164	17	1,205	41	1,279	74	1,310	31
	義務的経費・税関関連経費以外	3,818	3,780	△ 38	3,523	△ 257	3,366	△ 157	3,262	△ 104	3,234	△ 28
出	投資的経費	1,606	1,695	89	1,574	△ 121	1,471	△ 103	1,341	△ 130	1,342	1
	公共・直轄	860	943	83	836	△ 107	839	3	849	10	846	△ 3
	単独	746	752	6	738	△ 14	632	△ 106	492	△ 140	496	4
	その他の経費	2,212	2,085	△ 127	1,949	△ 136	1,895	△ 54	1,921	26	1,892	△ 29
	合計 A	11,324	11,306	△ 18	11,138	△ 168	11,026	△ 112	11,075	49	11,127	52
(再掲)※ 総合計画の「主な取組」	1,300	1,250		1,210		-		-		-		
歳	県税	3,950	3,970	20	4,025	55	4,155	130	4,323	168	4,436	113
	うち法人事業税	699	704	5	735	31	760	25	775	15	794	19
	地方消費税清算金	774	788	14	802	14	825	23	842	17	863	21
	地方譲与税	475	503	28	512	9	527	15	537	10	551	14
	うち地方法人特別譲与税	446	474	28	483	9	497	14	507	10	519	12
	地方交付税	2,763	2,795	32	2,836	41	2,837	1	2,814	△ 23	2,775	△ 39
	うち臨時財政対策債	1,200	1,220	20	1,175	△ 45	1,087	△ 88	1,015	△ 72	931	△ 84
	地方特例交付金	40	16	△ 24	16	0	16	0	16	0	16	0
	国庫支出金	1,190	1,208	18	1,206	△ 2	1,222	16	1,241	19	1,226	△ 15
	県債	641	704	63	703	△ 1	669	△ 34	577	△ 92	582	5
入	その他の歳入	1,144	930	△ 214	696	△ 234	551	△ 145	550	△ 1	546	△ 4
	合計 B	10,977	10,914	△ 63	10,796	△ 118	10,802	6	10,900	98	10,995	95

※ 新たな総合計画基本計画に示した4年間の具体的取組のうち「主な取組」(再掲)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
財政力 指数	本県	72.3	67.7	63.3	62.8	62.4	63.7	65.3	69.6	72.9	76.6	75.6	71.5	67.8
	全国	46.1	42.9	40.5	40.6	40.8	41.1	42.8	46.4	49.7	52.1	51.6	49.0	46.5
	順位	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7
経常収支 比率	本県	92.2	89.0	90.4	93.2	87.3	91.9	90.9	90.8	93.6	92.5	93.3	89.7	94.9
	全国	87.7	86.6	88.9	91.5	89.1	92.4	92.8	93.6	96.7	95.3	95.2	90.9	
	順位	38	34	31	31	15	21	10	4	5	7	9	17	
実質赤字 比率	本県	-	-	-	-	-	-	-	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連実質赤字 比率	本県	-	-	-	-	-	-	-	-	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実公債 費率	本県	-	-	-	-	-	-	12.9	12.4	11.6	11.7	13.1	14.3	15.3
	全国	-	-	-	-	-	-	14.5	14.4	14.0	13.9	14.4	14.8	
	順位	-	-	-	-	-	-	14	10	9	10	16	20	
将来負担 比率	本県	-	-	-	-	-	-	-	-	247.3	248.1	262.6	251.8	248.2
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	235.1	234.8	235.6	218.7	
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	30	28	32	36	

(参考)

起債制限 率	本県	12.2	13.1	13.4	13.2	12.8	12.6	-	-	-	-	-	-	-
	全国	11.7	12.2	12.6	12.6	12.5	12.6	-	-	-	-	-	-	-
	順位	26	30	29	28	27	22	-	-	-	-	-	-	-

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした

※指数及び比率の全国の数値は、単純平均の数値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注3)を対象とした実質赤字額(注4)の標準財政規模に対する割合

(注3) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注4) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注5)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注5) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、

第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

【起債制限比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、地方債元利償還金に充当された一般財源の標準財政規模等(注6)に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注6) 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を

加算した額である標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えた額

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位: %)

区 分		平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
自主財源比率	本県	53.4	56.4	63.0	59.7	47.6	47.4	49.8
	全国	50.9	52.9	58.8	56.8	49.1	49.9	
	順位	9	8	8	9	12	11	
地方税比率	本県	44.0	46.8	53.3	50.7	37.8	37.8	38.0
	全国	35.2	37.9	43.1	41.7	32.4	31.8	
	順位	5	5	6	5	6	6	
法人税比率	本県	16.4	18.4	19.4	17.7	7.5	7.8	8.1
	全国	11.6	13.4	14.1	13.0	6.6	6.0	
	順位	5	5	5	5	7	4	

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+地方消費税清算金+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+純繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

平成22年度 静岡県の財務諸表

平成21年度財務諸表から、総務省が平成19年10月に公表した「新地方公会計制度実務研究報告書」における「基準モデル」に従って、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表を作成しています。

	総務省方式改訂モデル (H19・20決算)	基準モデル (H21決算～)
固定資産の 算定方法 (初年度期首残高)	○売却可能資産： 売却可能価格	○現存する固定資産をすべてリストアップし、公正価値により評価
固定資産の 算定方法 (継続作成時)	○売却可能資産以外： 過去の建設事業費の積み上げにより算定 ⇒段階的に固定資産情報を整備	○発生主義的な財務会計データから固定資産情報を作成
固定資産の 範囲	○当初は建設事業費の範囲 ⇒段階的に拡張し、立木、物品、地上権、ソフトウェアなどを含める	○すべての固定資産を網羅
台帳整備	○段階的整備を想定 ⇒売却可能資産、土地を優先	○開始貸借対照表作成時に整備、その後継続的に更新
財務諸表の 検証可能性	○台帳の段階的整備等により、検証可能性を高めることは可能	○開始時未分析残高を除き、財務諸表の数値から元帳、伝票に遡って検証可能

基準モデル移行への対応

- すべての固定資産をリストアップ
 - ・ 地上権、ソフトウェア等を追加
 - ・ 国道や河川等の国有財産を除外
- 所有する全資産について、公正価値評価に基づく価額により計上
- 個々の取引情報を発生主義により複式記帳して財務諸表を作成

平成22年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

貸借対照表

（単位：億円）

借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
1 金融資産	6,798	1 流動負債	1,643
(1) 資金	222	(1) 賞与引当金	205
(2) 債権	976	(2) 預り金	44
税等未収金	197	(3) 翌年度償還予定地方債	1,376
未収金	11	(4) その他の流動負債	18
貸付金	803	2 非流動負債	29,853
貸倒引当金	△35	(1) 地方債	25,911
(3) 投資等	5,600	(2) 退職給付引当金	3,782
出資金	1,325	(3) 損失補償等引当金	16
基金	4,275	(4) その他の非流動負債	144
2 非金融資産	35,637		
(1) 事業用資産	12,873	負債合計	31,496
有形固定資産	12,847		
無形固定資産	26	【純資産の部】	
(2) インフラ資産	22,764	財源	△1,545
公共用財産用地	8,055	資産形成充当財源	3,155
公共用財産施設等	14,709	その他の純資産	9,329
		純資産合計	10,939
資産合計	42,435	負債・純資産合計	42,435

◆ 期末・勤勉手当に係る引当金を計上

◆ 地方債残高は、翌年度償還予定地方債と翌々年度以降償還予定地方債に分けて計上

◆ 退職手当に係る引当金を計上

◆ 県税や使用料などの未収金を計上

◆ 事業用資産には、将来の資金流入をもたらすものとして、庁舎、県立高等学校、県営住宅などの資産を計上

◆ インフラ資産には、将来の行政サービス提供能力を有するものとして、県道や橋りょう、空港などの資産を計上

【貸借対照表】

資産合計…どのくらい資産を保有しているかを示します。
 負債合計…将来世代の負担を示します。
 純資産合計…過去から現在の世代の負担を示します。

平成22年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

行政コスト計算書

（単位：億円）

◆人にかかるコスト、物にかかるコスト、県債の支払利息などを計上

◆行政サービスの受益者が負担する使用料や手数料等を計上

区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	費用比
1 経常業務費用	5,383	61.5%	業務収益（使用料等）	257	2.9%
①人件費	3,666	41.9%	業務関連収益（受取利息等）	235	2.7%
職員給料	2,497	28.5%			
退職給付費用等	1,169	13.4%			
②物件費	486	5.5%	経常収益 B	492	5.6%
消耗品費・維持補修費等	241	2.7%			
減価償却費	245	2.8%			
③経費	313	3.6%			
委託費	182	2.1%			
貸倒引当金繰入等	131	1.5%			
④業務関連費用	918	10.5%			
公債費（利払分）	416	4.8%			
その他	502	5.7%			
2 移転支出	3,365	38.5%			
①他会計等への支出等	23	0.3%			
②補助金等移転支出	3,200	36.6%			
③社会保障関係費等移転支出	142	1.6%			
経常費用 A	8,748	100%	純経常費用 A-B	8,256	

【行政コスト計算書】

経常費用…資産形成につながらない経常的な行政コストを示します。

経常収益…受益者負担を示します。

純経常費用…地方税や地方交付税といった一般財源などで賄わなければならないコストを示します。

平成22年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

純資産変動計算書

(単位：億円)

区 分	金額
前期末残高	10,741
I 財源変動の部	△701
1 財源の用途	△11,084
2 財源の調達	10,383
II 資産形成充当財源変動の部	1,685
1 固定資産の変動	1,077
2 長期金融資産の変動	612
3 評価・換算差額等の変動	△4
III その他の純資産の変動の部	△786
1 開始時未分析残高	△786
2 その他純資産の変動	0
当期変動額合計	198
当期末残高	10,939

◆純経常費用等への財源の充当

◆県税、地方交付税等の収入

資金収支計算書

(単位：億円)

区 分	金額
I 経常的収支	840
1 経常的支出	8,207
2 経常的収入	9,047
II 資本的収支	△1,239
1 資本的支出	2,488
2 資本的収入	1,249
III 財務的収支	426
1 財務的支出	3,104
2 財務的収入	3,530
当期資金収支額	27
期首資金残高	195
期末資金残高	222

◆固定資産の形成等に係る収支

◆県債の発行、償還等に係る収支

◆人件費、物件費等の支出

◆県税、地方交付税等の収入

【純資産変動計算書】

純資産の期中の増減がどのような要因で変化したのかを示します。1年間で今までの世代が負担してきた部分が増えたのか減ったのかがわかることとなります。

【資金収支計算書】

4表の中で唯一現金主義により作成されるもので、現金の流れを3つの区分により示します。資金をどのような性質の活動で獲得しているのかがわかります。

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区分	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
一般会計(A)	16,959	18,225	18,790	19,692	20,519	21,184	21,283	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,685	25,317	26,087
通常債	16,959	18,225	18,790	19,521	19,930	19,858	19,508	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,100	18,643	18,323
特例債	0	0	0	171	589	1,326	1,775	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,585	6,674	7,764
特別会計(B)	1,296	1,336	1,337	1,302	1,286	1,208	1,446	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,124	1,074	1,085
県営住宅事業	0	0	0	0	0	0	299	281	262	247	242	220	213	199	199
母子寡婦福祉資金	12	13	14	15	17	19	19	20	21	21	22	23	25	28	29
就農支援資金	11	8	5	4	3	2	4	4	6	5	6	8	9	10	11
中小企業振興資金	617	622	601	555	498	407	357	307	254	309	287	274	260	236	218
清水港等港湾整備事業	259	281	293	304	350	368	364	361	347	294	289	262	260	251	280
流域下水道事業	380	396	409	409	409	403	395	392	385	376	371	361	357	350	348
林業改善	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	14	14	13	13	9	9	8	8	7	7	7	5	0	0	0
企業会計(C)	954	941	1,024	1,286	1,378	1,342	1,278	1,217	1,235	1,202	1,218	851	822	794	767
県立病院事業	176	205	198	192	234	243	247	256	327	347	379	0	0	0	0
がんセンター事業	0	0	119	404	516	519	508	519	487	452	443	469	466	457	446
工業用水道事業	171	176	183	189	186	182	178	172	165	157	149	141	133	125	119
水道事業	272	273	276	272	263	256	256	254	256	246	247	241	223	212	202
地域振興整備事業	335	287	248	229	179	142	89	16	0	0	0	0	0	0	0
計(A+B+C)	19,209	20,502	21,151	22,280	23,183	23,734	24,007	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,631	27,185	27,939

※県債残高の平成23年度以前は決算額、平成24年度は当初予算額

※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債

※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置

※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上。

※就農支援資金は、平成22年度までは農業改良資金

2. 県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位:千円)

区分	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
本県	466.9	502.0	515.7	538.0	557.8	572.5	581.7	583.2	583.7	590.7	606.5	635.1	660.9
全国平均	499.2	534.1	550.7	566.5	588.6	610.2	624.0	622.2	622.4	626.4	631.3	651.6	675.1
順位	16	16	14	14	14	15	15	15	15	15	16	16	16

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政5基金の年度末残高の推移

(単位:億円)

区 分	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
財政調整基金	4	4	84	84	128	125	116	106	32	88	88	89	89	69
県債管理基金	1,318	1,382	1,588	1,643	1,846	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,897	3,319	3,322
うち一般会計分	921	664	645	522	545	491	454	462	421	454	331	520	558	206
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
土地開発基金	120	121	123	124	126	87	78	70	61	57	57	57	57	37
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合 計	1,464	1,529	1,817	1,873	2,122	2,196	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	3,065	3,487	3,450
うち一般会計分	1,067	811	874	752	821	725	670	660	536	621	498	688	726	334

※残高の平成23年度以前は決算ベース、平成24年度は見込額

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、

各基金より大規模地震災害対策基金に繰入ることが可能であることが条例において規定

減債基金への積立ての状況

積立ルール

県債発行額の3.7%(27分の1)を3年据え置き後、
毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
満期一括分残高(実償還ベース)	14,309	15,846	17,470	19,110	20,198	21,709	23,603	24,205	26,060
公募公債	8,980	10,380	11,860	13,124	14,374	16,937	18,474	19,883	21,489
銀行等引受債	5,329	5,466	5,610	5,986	5,824	4,772	5,129	4,322	4,571
積立残高	1,442	1,641	1,832	2,109	2,155	2,080	2,372	2,754	3,113

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
歳入 A	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498
県債	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952
通常分 B	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,531	679	731
臨時財政対策債	737	526	403	364	329	400	809	1,518	1,221
財源不足額 C	16	125	87	45	158	4	156	30	40
差引 D(A-B-C)	10,715	10,397	10,294	10,407	10,174	9,994	10,459	10,976	10,727
歳出 E	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349
公債費 F	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715
差引 G(E-F)	9,966	9,818	9,561	9,642	9,736	9,732	10,362	9,844	9,634
プライマリーバランス H(D-G)	749	579	733	765	438	262	97	1,132	1,093

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政5基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

1.発行額の推移

(単位:億円)

区分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
個別発行	5年債			200	200	200	200	600	400	400	300	800	500	400	600	
	10年債	680	750	680	500	700	600	800	1,000	900	800	900	1,300	1,100	700	800
	20年債							200	300	200	400	300	200	300	300	
	30年債									200	200	200	200	200	100	
	合計	680	750	680	700	900	800	1,000	1,800	1,600	1,600	1,800	2,600	2,000	1,600	1,800
共同発行						400	600	600	600	600	600	600	800	600	600	
その他														100	300	
総計	680	750	680	700	900	1,200	1,600	2,400	2,200	2,200	2,400	3,200	2,800	2,300	2,700	

※平成24年度は予定額

2.最近の発行条件

	償還年限	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利	
平成23年度	4月	5年	100億円	0.621%	100円	0.621%	10.0bp	0.521%
		10年	100億円	1.385%	100円	1.385%	10.0bp	1.285%
	5月	10年	100億円	1.193%	100円	1.193%	7.0bp	1.123%
		5年	100億円	0.478%	100円	0.478%	4.0bp	0.438%
	6月	10年	100億円	1.158%	100円	1.158%	3.5bp	1.123%
		20年	100億円	2.003%	100円	2.003%	9.0bp	1.913%
	7月	10年	100億円	1.201%	100円	1.201%	3.5bp	1.166%
	8月	5年	100億円	0.390%	100円	0.390%	4.0bp	0.350%
	10月	10年	100億円	1.025%	100円	1.025%	3.5bp	0.990%
	11月	10年	100億円	1.045%	100円	1.045%	4.5bp	1.000%
24年度	3月	5年	100億円	0.354%	100円	0.354%	3.0bp	0.324%
		10年	100億円	1.015%	100円	1.015%	2.5bp	0.990%
	15年	100億円	1.514%	100円	1.514%	2.5bp	1.489%	
	4月	5年	100億円	0.394%	100円	0.394%	4.0bp	0.354%
		10年	100億円	1.068%	100円	1.068%	3.5bp	1.033%
	5月	10年	200億円	0.906%	100円	0.906%	4.5bp	0.861%
6月	5年	200億円	0.272%	100円	0.272%	3.0bp	0.242%	
	15年	100億円	1.406%	100円	1.406%	2.5bp	1.381%	
7月	20年	200億円	1.736%	100円	1.736%	7.0bp	1.666%	
8月	10年	100億円	0.849%	100円	0.849%	3.5bp	0.814%	
	5年	100億円	0.220%	100円	0.220%	4.5bp	0.175%	

3.過去の20、30年債の発行条件

(1)20年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
平成17年度	200億円	2.18%	99.96円	2.182%	10.0bp	2.082%
平成18年度	100億円	2.36%	99.96円	2.362%	15.0bp	2.212%
平成18年度	200億円	2.35%	99.93円	2.355%	18.0bp	2.174%
平成19年度	100億円	2.29%	99.89円	2.298%	12.0bp	2.177%
平成19年度	100億円	2.29%	99.98円	2.291%	13.0bp	2.161%
平成20年度	200億円	2.35%	100.00円	2.350%	11.0bp	2.240%
平成20年度	200億円	2.32%	99.95円	2.323%	18.0bp	2.143%
平成21年度	200億円	2.243%	100.00円	2.243%	10.0bp	2.143%
平成21年度	100億円	2.227%	100.00円	2.227%	8.0bp	2.147%
平成22年度	100億円	2.072%	100.00円	2.072%	6.0bp	2.012%
平成22年度	100億円	1.841%	100.00円	1.841%	11.0bp	1.731%
平成23年度	100億円	2.003%	100.00円	2.003%	9.0bp	1.913%
平成23年度	200億円	1.777%	100.00円	1.777%	7.0bp	1.707%
平成24年度	200億円	1.736%	100.00円	1.736%	7.0bp	1.666%

(2)30年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
平成19年度	200億円	2.630%	100.00円	2.630%	20.0bp	2.430%
平成20年度	200億円	2.541%	99.97円	2.541%	27.0bp	2.271%
平成21年度	200億円	2.381%	100.00円	2.381%	14.0bp	2.241%
平成22年度	200億円	2.198%	100.00円	2.198%	19.0bp	2.008%
平成23年度	200億円	2.108%	100.00円	2.108%	15.0bp	1.958%

お問い合わせ：静岡県 経営管理部 財政課

メールアドレス：zaisei@pref.shizuoka.lg.jp

T E L：054-221-2036

静岡県IRサイト：<http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>

F A X：054-221-2750